

熊本の“いま”を読む地域経済情報誌

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

林 裕
熊本学園大学学長
地域貢献と学生満足度の最大化を

12 2024
月号
VOL.522



特集

特別企画

伸びゆく熊本都市圏

半導体・空港・道路・街なか

国際定期便、12月に4路線週40便／TSMC第1工場
熊本市役所本庁舎建て替え／新町・吉町地区 歩いて楽しめるまちへ

産官学交え技術交流会

崇城大学

崇城大学(熊本市西
区池田4丁目、中山峰
男学長)は11月1日、同
大学池田キャンパス内
の多目的棟・SOLA
2・3階ホールを会場
に、産官学技術交流会
「SOJOコラボ」を開
いた。

地域社会の課題解決
に向け、産官学の技術

交流を推進することを
目的に、毎年開かれて
いる交流会で、今年で
9回目。

午後1時40分からの
基調講演では「アントレ

プレナリシップ教育と産学連携で未来を切り拓く」と題して総合教育センターの川副智行教授が講演。続いて学生8人によるショートプレゼンテーションがあり、その後会場を2階に移し、午後4時からポスター発表会を実施した。

同大学では、交流会を通じて大学の技術シーズの活用を希望する企業や団体とのマッチングを今後とも進めていきたいとしている。



大学で、配分額が1位になったと発表した。

教育学術新聞（6月26日付）に掲載された、令和6年度科学研究費補助金（科研費）の配分状況によると、崇城大学の配分額が、590の私立大学の中で101番目で、医学部・歯学部のある大学を除く、九州の私立大学での配分額は1位、採択件数は54件となった。

科研費は全国の大学や研究機関の研究活動に必要な資金を研究者に助成するしくみの一つで、人文・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる独創的・先駆的な学術研究を対象としている。令和6年度の予算額は約2400億円。

崇城大学

医学部・歯学部のある
大学除き科研費配分額
1位に

崇城大学（熊本市西区池田4丁目、小野長門学長）は8月、科学研究費補助金（以下・科研費）が、医学部・歯学部のある大学を除いた九州内の私立